

愛・地球博20祭

市民や学生、みんなで人や生き物が集う屋上庭園をつくるプロジェクト

コミュニティ

ガーデン

Community Garden 風の丘

～星が丘から長久手の丘へ～

東山動植物園に隣接する星が丘地区(名古屋市千種区)で植物を通じた街づくりを実践している産学連携チーム(星が丘テラス、メイガーデンズ、椋山女学園大学)が協働し、地球市民交流センターの屋上庭園をプロデュース。

テーマは「風」。

日頃、星が丘の街づくりで用いている手法をもとに、人や生きものが集う「コミュニティガーデン」をつくり、市民、学生、みんなで、屋上の草原を”風を感じる庭”にしていけます。

企画:コミュニティガーデン 風の丘
 会期:3月25日(火)～9月25日(木)
 場所:愛・地球博記念公園 地球市民交流センター 屋上庭園
 主催:愛知万博20周年記念事業実行委員会
 協働:星が丘産学連携チーム
 (星が丘テラス、メイガーデンズ、椋山女学園大学 生活環境デザイン学科 橋本雅好研究室+コトづくり研究所)



背景 なぜ”星が丘”が万博に?

東山動植物園の植物園と隣接する街、「星が丘」

東山の自然を背景に、オープンモール型商業施設の星が丘テラスでは、近隣大学との産学連携により、星が丘に虫や鳥など生きものを呼び取り組みや、自然や植物の新しい楽しみ方の企画提案、市民参加による植物を介したコミュニティの場所作りを行い、植物を通じた街づくりに力をいれています。

そんな星が丘では、年間約300名の市民の方が毎年、星が丘テラスの植物に関わっています。今回、星が丘の街をみんなの庭としていく取組に注目いただき、愛知万博20周年記念事業にて「風の丘」をプロデュースさせていただくことになりました。



©GISPRI



星のガーデナープロジェクト

オーガニックなガーデン作りを学ぶ年間講座
 みんなで街の景観を作り、星(地球)のガーデナーを育てるプロジェクト
 (@星が丘テラス)



植物の新たな魅力を追究

椋山女学園大学の学生による
 ロスフラワーを活用したフローティングフラワー展示
 (@東山動植物園 温室前館)



市民が自由に描く、落ち葉アート

都会では「ゴミ」とみられがちな落ち葉も
 星が丘では「宝物」
 (@星が丘テラス)

コミュニティガーデン「風の丘」ってどんな場所？

1 風に揺れる花壇
みんなで宿根草を主としたナチュラルスティックガーデンをつくり、風の丘を彩ります。

2 風みる丘
ふだん、風は感じるものと思っていますが、この丘では、風をみることができます。あなたには、どんな風がみえますか？

3 風使いの町
風を使う生きものが暮らす町。鳥、くも、モモンガ。もしかしたら妖精も？

4 草原の船
草原を渡る船は、季節の花や緑を運ぶ渡船。風になびく帆も草花で染まっています。

風の丘への道
コミュニティガーデン「風の丘」へつながる道では、季節の花が迎えます。

愛・地球博20祭 Community Garden
風の丘

時が進み、ちょっと遠くなった“人と自然との距離”
「風の丘」は、そんな時を巻き戻して、
人と自然の距離を縮める、みんなの「庭」になることを願って作られた場所
風にあたる、風を感じる
そんなゆとりある時間や自然のリズムを、忙しく時間に追われがちな現代人に提供する丘です

コミュニティガーデン「風の丘」3つのポイント

①市民参加型でつくる

星が丘という街で、この星(地球)のための人材を育てる。それが、希望の星となるように。自然と共生する人材育成と街の緑化推進を兼ねた「星のガーデナープロジェクト」など、星が丘の街で実施している市民参加の風景作りのノウハウを展開し、参加・交流型のみんなでつくりあげる「コミュニティガーデン」をつくりまします。そして、人間だけでなく、受粉をおこなうハチや蝶、タネを落とす鳥、かれらもこの星のガーデナーです。

風の丘への道

市民約100名と植えた星型の花が咲く花道

コミュニティガーデン風の丘へつながる道は、季節の花が迎えます。
5月初旬頃には、昨年10月星が丘テラスで市民の方々と共に、星型の花が咲く球根を寄せ植えした約100鉢のフラワーポットが満開を迎えコミュニティガーデン風の丘までの道を彩ります。フラワーポットには、街や未来への想いを書いたメッセージも添えられています。



風に揺れる花壇

ロングライフで持続可能な宿根草花壇

星が丘テラスで8年目を迎える、オーガニックガーデニング年間講座の特別版「星のガーデナー講座 風の丘Class」の学びの場。

一般募集で集まった16人の受講者と共に、人にも環境にも優しいガーデニングを通じて公園や緑地の新たな在り方を提案します。



② 万博を知らない世代とつくる

愛知万博の開催時期に生まれた、万博を知らない世代の学生によるインスタレーション。
空や自然より、デジタル画面をみるのが多くなった現代人に、ちょっと風にあたり、自然と触れ合うきっかけをつくり、忘れかけていた時間を取り戻す場を学生の目線で提案する。
愛知万博を知らない世代と共に考え、発信することで、次世代につなげていきます。

風みる丘

季節の風を運ぶ、約400本の風ぐるま

風を感じるだけでなく、“見て”楽しむ丘。
四季の移ろいが生み出す風の変化に名前を付け親しんできた日本の美しい習慣に倣い、色とりどりの風ぐるまにより四季の風を表現します。

〈展示入替スケジュール〉 ※天候により変更となる場合がございます。
・3月25日(火)～ 花信風(桃)、薫風(緑)
・6月頃～ 白南風(紫)、青東風(青)
・8月中旬頃～ 萩風(橙)、金風(黄)



風使いの町

生きものも、植物も、みんな風と共にくらしている

風を使って、風と共にくらしている生きものたち
鳥、クモ、モモンガ、ムササビ…もしかしたら妖精も？
風を使って暮らしている風景を、風と共に暮らす
”風使い”たちの町として表現します。



③ 役目を終えた廃材の活用

廃船をプランターとして活用する他、会場の手摺には、自動車のエアバックの端材でつくるエコバックの切れ端をリボンにして巻き付け、風を可視化する仕掛けを施します。

草原の船

草原を渡る、季節の花や緑を運ぶ廃船

名古屋市千種区の東山動植物園の中にある東山ボートハウスの手漕ぎボート(廃船)を大きなプランターとして再利用しました。
風がボートいっぱいの草花を揺らしたら、出航の合図です。
風に揺れる帆は、草木染で染められています。



《期間限定》 ワークショップイベント

① 風の丘 ひつじと手しごと ピクニック

会期:5月10日(土) ※雨天の場合は翌日開催
場所:コミュニティガーデン風の丘
内容:ひつじのふれあい・えさやり体験
糸紡ぎピクニックワークショップ

② 草木染ワークショップ

会期:5月10日(土)・11日(日)
場所:地球市民交流センター1階 多目的室2
内容:桜の草木染ワークショップ

会期:6月15日(日)
場所:地球市民交流センター1階 多目的室4
内容:地球市民交流センター屋上のパンパスグラスの葉を使った草木染ワークショップ



< 本件に関するお問い合わせ >

東山遊園株式会社 星が丘テラス営業部 info@hoshigaoka-terrace.com 担当:朝日・柏木
学校法人椋山女学園 kouhou@sugiyama-u.ac.jp 担当:企画広報部広報課 渡部